

(前年同月比：％)			2026年									2027年									通期
			7月	8月	9月	1 Q	10月	11月	12月	2 Q	上期	1月	2月	3月	3 Q	4月	5月	6月	4 Q	下期	
ト ラ イ ア ル	既 存 店	売上高	104.0	103.5	103.5	103.7															
		客数	102.0	102.6	100.8	101.8															
		客単価	101.9	100.9	102.8	101.8															
	全 店	売上高	110.6	108.6	109.8	109.6															
		新規出店数	2	1	2	5															
		閉店店舗数	0	0	0	0															
		全店舗数	380	381	383	383															
西 友	既 存 店	売上高	108.9	108.8	107.0	108.2															
		客数	110.5	109.5	106.9	108.9															
		客単価	98.6	99.4	100.2	99.4															
	全 店	売上高	107.4	107.7	105.4	106.8															
		新規出店数	0	1	0	1															
		閉店店舗数	0	0	0	0															
		全店舗数	243	244	244	244															
業態転換数(西友⇒トライアル西友)		1	1	0	2																

(環境) 当月は、台風や秋雨前線などの影響により、東日本太平洋側を中心に降水量が多く、日照時間も少なくなりました。また、前年の記録的な高温と比べ、気温は低下しました。

(トライアル) 食品や季節商品が堅調に推移し、既存店売上高は9ヵ月連続で前年を上回りました。シルバーウィーク期間は、生鮮・惣菜や酒類を中心に販売が伸長しました。

また、祝日が前年同月より1日多く、既存店売上高を約0.8pt押し上げました。なお、7月28日に発生した「令和8年熊本地震」の影響により、1店舗が現在も営業を休止しています。

グロスアリーは、西友PB商品「青唐辛子の爽やかな辛味グリーンカレー」などのレトルトカレーが好調だったほか、10月の酒税改正を前に、発泡酒・新ジャンルなどが販売を伸ばしました。

デイリーは、トライアルPB商品「チーズクイニーアマン」などの菓子パンや、冷凍フルーツが支持を得ました。生鮮は、秋野菜や、鮮魚のPB商品「匠の鮭」シリーズ、「ガーリックシュリンプ」が伸長し、精肉は牛・豚・鶏の各カテゴリーが好調に推移しました。一方、お米は前年の備蓄米需要の反動などから前年実績を下回りました。惣菜は「ロースかつ重」「特製のり弁当」「たっぷり玉子サンド」などの定番人気商品が引き続き売上高に寄与しました。非食品は、雨具や、アパレルPB商品「さらっとリラックスロングパンツ」などのルームウェアが好調でした。

(西友) 関東圏では記録的な長雨など厳しい天候が続く中でも、客数は引き続き高い伸びとなりました。一品単価が前年を上回り、客単価もプラスに転じ、既存店売上高は12ヵ月連続で前年を上回りました。食品は、納豆、豆腐、おでん関連などの日配品や秋野菜が堅調でした。商品強化を進めている寿司に加え、惣菜ではトライアルの「ロースかつ重」や「たっぷり玉子サンド」などが引き続き高い支持を得て、売上高をけん引しました。非食品は、雨具や秋冬物のカジュアルウェアが好調に推移しました。

(店舗) ・新規出店：2店 スーパーセンター：名張店(三重県)、金ヶ崎店(岩手県)

・閉店：0店 ・業態転換：0店 ・改装リニューアルオープン：1店 TRIAL GO：江古田栄町店(東京都)

※ 売上高の前年同月比はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値と異なる可能性があります。

※ 「グロスアリー」は菓子類などの加工食品、「デイリー」は卵や乳製品などの日配品、「フレッシュ」は生鮮四品(青果・精肉・鮮魚・惣菜)、「生活」は日用消耗品などの家庭用品、「ハード」は家電製品などの耐久性商品、「アパレル」は衣料品を示しております。

※ 「トライアル西友」への業態転換店は、西友の店舗として集計しており、西友の合計店舗数に増減はありません。